

大阪びんリユースシステム構築に向けた実証事業報告

**「大阪リユースびん」を、
大阪の地球温暖化防止活動の象徴にしたい。**

大阪府地球温暖化防止活動推進員3R推進チーム

大阪びんリユース推進協議会

構成団体・大阪府地球温暖化防止活動推進員3R推進チーム・Rびんプロジェクト・特定非営利活動法人ごみゼロネット大阪

・特定非営利活動法人大阪府民環境会議・かしわら環境会議・飯田物流株式会社・大阪硝子壺問屋協同組合

(2014年2月28日現在)

事業の背景

大阪府地球温暖化防止活動推進員3R推進チームの活動事例として「大阪リユースびん」事業は始まった。

■2012年4月。Rびんプロジェクトの代表である西村氏をリーダーに、大阪府地球温暖化防止活動推進員3R推進チーム発足。

■3R推進チームとして何をするか。

- ①子供たちに3R教育がいかになされているかを調べる「教科書調査」。
- ②自治体が3Rにいかに取り組んでいるかを調べる「自治体調査」。
- ③3R推進の活動事例として「大阪リユースびん」の開発。

■行政でペットボトル飲料が減らないなか、各地でのリユースびん事業(新宿サイダー、奈良県「とわ」、福井県いけソーダ)を知り、「大阪リユースびん」の実証事業活動がスタート。

事業の目的と効果

**いつまでペットボトルを使こてんねん。
大阪には「大阪リユースびん」があるのに。**

◎事業の目的

1. 「大阪リユースびん」の開発と運営システムを構築する。
2. 出来上がった「大阪リユースびん」を使って、府民にリユースの啓蒙を図る。
3. リユースびんの普及活動を強力に推進するために「大阪びんリユース推進協議会」を立ち上げる。

◎効果

1. 大阪(8,854,483人:平成26年2月1日)という大市場で展開することで相当量のCO2削減効果が見込める。
2. リユースびん、3Rを通して府民の環境意識の向上が図れる。
3. 大阪府市町村に使ってもらうことで、自治体の環境に取り組む姿勢をPRできる。

事業の内容

3Rの取り組みの旗印となる「大阪リユースびん」の開発とその推進システムの構築。

リユースびんの中味は

- 行政の会議、セミナー等での使用を第一に考え、緑茶飲料とする。
- 味でも選んでもらえるように、
利休が生まれた堺発祥の茶葉メーカー「つぼ市製茶本舗」に茶葉の提供を受ける。

商品名は

1. お茶の飲料であることがわかる
 2. 大阪に縁深い秀吉の側室である茶々の方
- この2つの意味を込めて

「大阪撰茶 茶々(ちゃちゃ)」とする。

(※2014年1月31日商標登録出願)

ロゴ・デザイン

■ロゴタイプ

お茶の繊細なイメージと、茶々の響きからロゴタイプを決定。

大阪らしさを出すために秀吉の旗印である
ひょうたんをデザイン。

(※2014年1月31日商標登録出願)

■ボトルデザイン

硝子びんの特性を生かすため、
中味がきれいに見える大きさにロゴを配置。

リユースびんであることを表面下部に表示。

ボトル: Rドロップス2、220ml入り
(新宿サイダー、大和茶「とわ」に採用)



「茶々」の特徴

- 1. 利休生誕の地、大阪・堺創業の茶葉メーカーが特別にブレンドした茶葉を使用。
今までのボトル飲料にはない深い味わい。**
- 2. くり返し使えるリユース対応びん(Rドロッパス2)を使用。
くり返し使うことでCO2排出量抑制に貢献。
中味の味を損なわないびん入りならではのおいしさも特徴。**
- 3. カーボンオフセット付の環境にやさしい商品。**
大阪府地球温暖化防止活動推進員の管轄母体である、一般財団法人大阪府みどり公社のサポートによりクレジットを購入。「茶々」は、リユースびんというエコ訴求に加え、カーボンオフセット付の環境にやさしい商品としてのPRが可能に。

「茶々」のPR物

■告知パンフレット (A4/2P)



■告知ポスター (B4・縦1/2)



■ニュースリリース

大阪びんリユース推進協議会

ニュース リリース

大阪撰茶「茶々(ちやちや)」、リユースびんで誕生。

大阪びんリユース推進協議会(大阪市中央区)では、2014年3月より、大阪撰茶「茶々」を、くり返し使えるリユースびん入りで発売する。

■特徴

1. くり返し使えるリユースびんを採用。

ペットボトル、ワンウェイびんと違い、くり返し使えるリユースびんは、CO2削減、ごみ減量、資源の節約など環境負荷が少ない容器として注目されています。さらに容器としてのびんは中味の味を損なわないという特性もあります。

「茶々」は、Rドロップス2というリユース専用のびんで、220ml入り、王冠タイプ。

2. 名産地から選んだ茶葉をブレンド。

中味は、日本各地の産地から選んでブレンドした茶葉を能勢の天然水で抽出しました。この深み、風味こそまさにお茶本来の味わい。一口ひとくち、ゆっくりと、今までのボトル飲料とは違うおいしさを楽しんでいただけます。

3. カーボンオフセット付の環境にやさしい商品です。

事業の実施体制

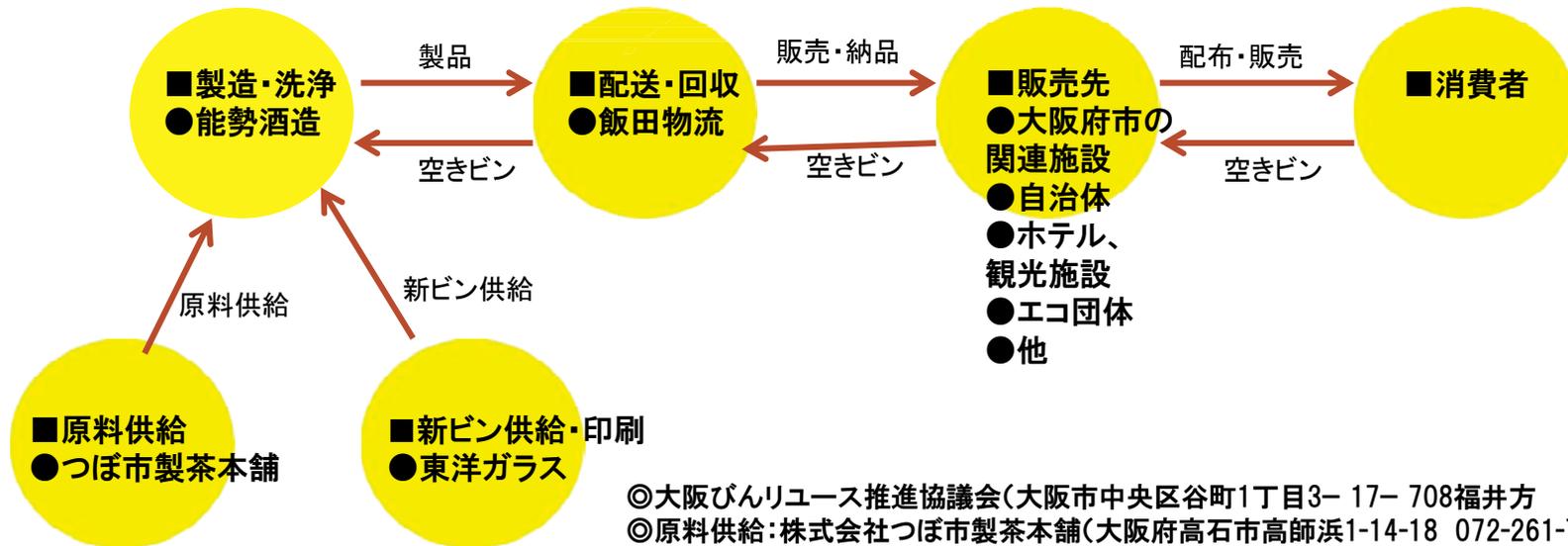
Rびんプロジェクトやごみゼロネットなどの協力を得、
「大阪リユースびん」事業の実施体制はスムーズに構築された。

■企画

- 大阪府地球温暖化防止活動推進員
3R推進チーム
- 大阪びんリユース推進協議会

■販売元

- 大阪硝子壺問屋協同組合



- ◎大阪びんリユース推進協議会(大阪府中央区谷町1丁目3-17-708福井方)
- ◎原料供給:株式会社つぼ市製茶本舗(大阪府高石市高師浜1-14-18 072-261-7181)
- ◎製造・洗浄:能勢酒造株式会社(大阪府豊能郡能勢町吉野358 072-735-2222)
- ◎販売・回収:飯田物流株式会社(大阪府八尾市安中町1-1-29 072-923-6002)
- ◎販売元:大阪硝子壺問屋協同組合(大阪府高槻市奈佐原2-1-10 072-972-3115)

事業の成果(1)

1)大阪リユースびん「茶々」の完成

2月20日、能勢酒造で記念すべきボトリングがスタート。
午前中に3,820本の製品が出来上がる。



2月20日、洗浄、ボトリングがスタート。
できたての茶々がP箱に続々と入れられて完成。



3月13日 能勢酒造で試飲会

※3月 3/5 大阪食品衛生協会に菌検査依頼。3/7 陰性検査結果を受ける。

事業の成果(2)

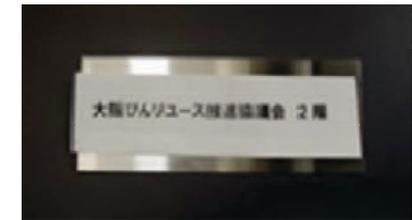
2)「大阪びんリユース推進協議会」を設立(2月19日)し、 「茶々」の推進体制を構築。

＜構成団体＞（2014年2月28日現在）

- 大阪府地球温暖化防止活動推進員3R推進チーム
- Rびんプロジェクト
- 特定非営利活動法人ごみゼロネット大阪
- 特定非営利活動法人大阪府民環境会議
- かしわら環境会議
- 飯田物流株式会社
- 大阪硝子壺問屋協同組合

大阪びんリユース推進協議会

大阪市中央区谷町1丁目3-17-708 福井方
☎06-6949-5132



事業の成果(3)

3) イベント、自治体への普及活動スタート。

「茶々」の完成とほぼ同時に、問い合わせ、引き合いがあり、大阪の環境団体のネットワークの凄さを実感。イベントでの活用という新たな啓発の場を開拓。

- ◎2月17日 ・茨木市訪問。
 - ・産業環境部環境政策課の担当者2人と会う。
 - ・現納入者との調整が必要とのこと。

- ◎2月21日 ・堺市訪問。
 - ・環境局、環境都市推進室の担当者3人と会う。
 - ・市庁舎売店での可能性を打診される。
 - ・文化観光局の担当者を紹介される。
(堺市内のホテルなどの需要があるのではと好意的な声をもらう)



堺市でのプレゼン

事業の成果(3)

◎2月28日 大阪府地球温暖化防止活動推進員の交流会で披露。
約30人の推進員に試飲とPR。



◎3月1日 「京都・環境教育ミーティング」で試飲、40本販売回収。



事業の成果(2)

◎3月4日 みどり公社が出展したカーボンオフセットEXPOで**100本販売回収**。



北川環境副大臣が環境省と公社ブースを訪問。近畿での取組みを説明、「茶々」の試飲を行った。評判は上々。

◎3月11日 京都大学 3R国際会議で**40本販売回収**。



事業の成果(3)

◎3月12～14日 柏原「わたの作品展」で40本販売回収。



<その他の予定>

- 3月22日 円卓交流会40本販売回収予定。
- 3月24日 柏原「かしわら環境会議」20本販売回収予定。
- 4月20日 京エコロジーセンター「きょうのごはんに大感謝祭！」50本販売回収予定。
- 4月25～27日 ロハスフェスタ販売回収予定。
- 6月1日 柏原「環境フェア」200本販売回収予定。
「かしわら環境フェア」100本販売回収予定。
NPO東大阪市民環境会議26年度総会40本販売回収予定。
- 6月7日 大阪府市ガレッジセール販売回収予定。

販売実績と回収率

市町村、イベント、店舗への試飲、または協議会メンバーへの販売回収委託などを含め、3月20日現在で、製造3,820本中、約1,500本を出荷。

[イベント販売について]

- 京都・環境教育ミーティング
試飲8本 販売32本 回収40本 回収率100%
- カーボンオフセットEXPO
販売100本 回収100本 回収率100%
- 京都大学3R国際会議
販売40本 回収40本 回収率100%
- 河内かしわら「わたの日」
販売40本 回収40本 回収率100%

[試飲について]

- 大阪府地球温暖化防止活動推進員の交流会
提供12本 回収12本 回収率100%
- Rびんプロジェクト定例会
提供11本 回収11本 回収率100%

販売実績と回収率

[販売について]

●吉川商店

販売200本 回収0本 回収率100%

●新日本流通

販売200本 回収0本 回収率0%

●京都環境市民会議

販売20本 回収0本 回収率0%

●京都ごみ減量会議

販売40本 回収0本 回収率0%

●大阪ごみ減量推進会議

販売18本 回収18本 回収率100%

●大阪府民環境会議

販売20本 回収20本 回収率100%

●大阪教育大学

販売100本 回収0本 回収率0%

●自治労東大阪市労働組合

販売20本 回収0本 回収率0%

●追手門大学梅田サテライト

販売20本 回収0本 回収率0%

●柏原市真野酒店

販売100本 回収0本 回収率0%

●大阪市桃龍園（中華店）

販売100本 回収0本 回収率0%

●柏原市円卓会議

販売40本 回収40本 回収率100%

●柏原市かしわら環境会議

販売20本 回収20本 回収率100%

販売実績と回収率

現在回収率は低いが、

- 1) 初期PRのサンプル出荷が多い。
- 2) 開封されずそのまま空き瓶となっていない。
- 3) 回収先がばらついていて、個別の対応すると環境と費用に負荷がかかる。
- 4) 現状は、出荷先を記録し、あるタイミングでまとめて回収する予定。

事業の成果（まとめ）

- 1) “3Rの取り組みの旗印となる「大阪リユースびん」の開発とその推進システムの構築”に取り組み、「茶々」を完成（2月20日）させることができた。
- 2) リユースびん推進体制を確立するために欠かせない「大阪びんリユース推進協議会」も、「茶々」の完成とほぼ同時に設立（2月19日）できた。
- 3) 積極的な“環境団体の存在”と“イベントへの展開”という新たな普及啓蒙先を開拓した大阪ならではの取り組みで、わずか1か月で約1,500本出荷できた。

これからは、市場の声と自治体調査を生かし、大阪府市町村民、行政に向けて本格的にアプローチを開始。

早期に、大阪でのびんリユースシステムを完成させ、求められる循環型社会づくりに貢献していく。

今後の検討課題(残された問題)

目指すリユースシステム構築に当たっては、
販売方法別に課題が想定される。

1) イベント販売・回収

対面式であり、ほぼ100%の回収が期待される。流通量の拡大に向けては検討が必要。

2) 拠点を固定した販売・回収

一定量の販売が期待されるホテルや行政であれば、配送ついでに回収が成立。この場合もほぼ100%の回収が見込める。

3) 直接販売・回収

他府県への販売、個人への少量販売は基本的には断るが、回収まで考えたオーダーであれば対応していく。

■一定以上の流通量を確保し、びんリユースシステムを構築していくためには、本実証事業で構築した「大阪びんリユース推進協議会」を中心に引き続き活動していく。

事業終了後の展開

3,820本のリユースシステムが構築できた段階での次の「大阪リユースびん」事業の在り方を検証。

1) 販路拡大

イベントへの積極的な参加、自治体訪問を継続。パブリシティなどのPR活動。

2) 新リユースシステムの検証

本数や納入先が増えても対応できる新システムを構築。

3) 新商品の開発

緑茶飲料以外のリユースびんの可能性を検証。

4) 仲間づくり

「大阪びんリユース推進協議会」のメンバーを増やす、他の協議会、NPO団体との連携強化。



最後に

**リユースびん事業は、
今後とも継続されるべきもの。**

**しかし、なかなか事業として自立することが
難しいのが現状です。**

**今後とも様々な局面でのご支援を
よろしくお願いします。**

ありがとうございました。



**環境省「平成25年度 びんリユースシステム構築に向けた実証事業」
大阪リユースびんの開発・販売回収・普及事業報告書**

**作成：大阪府地球温暖化防止活動推進3R推進チーム・大阪びんリユース推進協議会
〒540-0012 大阪府中央区谷町1丁目3-17-708 福井方**